

〈研究ノート〉

## 「信州弁サミット」のまとめ

大橋 敦 夫  
佐藤 厚

### はじめに

第11回観光文化研究大会（2012.7.7）「信州弁サミット」の概要を記録・報告し、次回以降の方向性を探るよすがとしたい。

本稿は、以下のとおりの構成とする。

1. 概要報告……プログラムの採録，来場者アンケートの分析，まとめ
2. 方言調査の報告……事前アンケートの分析
3. 記録……方言版『吾輩は猫である』
4. 特別寄稿……「民話の語りの場から」：稲垣勇一氏（信州弁サミット出演者）

### 1. 概要報告

まず、当日のプログラムを以下に採録する。

#### I. オープニング

趣旨説明

読み比べ：『吾輩は猫である』 読み手・方言訳：本学代表学生11名

会話例：方言パフォーマンス・方言のセリフを生かした演劇

上演作品：「ともだちや」（内田麟太郎作 こすぎこういち構成）

出演：本学演劇サークル

#### II. 民話・語りの聞き比べ

民話の語り [東信の例] 稲垣勇一さん（塩田平民話研究所）

「坊さまになったカラス」

□民話の語り〔中信の例〕 遠藤 旭さん（方言研究者）

「四賀の里の方言を主体にした民話劇の中から」

□民話の語り〔北信の例〕 栗岩保子さん（民話かたりべ）

「鳥飲爺（とりのみじい）」

### Ⅲ. パネル・ディスカッション

□地域方言の特徴など

パネラー：民話の語り手の皆さんと各地区の学生

□会場とのQ&A

つづいて、一般来場者対象のアンケート（3項目）の結果（26名分回収 一般来場者の総数は80名）を分析したい。

#### ① 今回の催しについてのご感想・ご意見

おおむね好評で、「方言の響きがなつかしかった」「学生さんの語り・演劇がよかった」などの感想とともに、「もっと時間を長くしてほしい」「この催しをずっと続けてほしい」等、企画が当たった手ごたえを感じることでできる評価が多かった。

#### ② 信州方言について；お気に入りの方言等をご教示ください

「ずく」「ずくなし」を挙げる方が20%ほどあり、全県を覆う方言であるとともに、愛着を持たれている様子がわかる。

また、名古屋出身の方からは、「信州の方言はおとなしい」との評もあり、「外から見た信州方言の特徴」という視点も、今後の展開では要点になるとの認識を得た。

#### ③ 今後の催しへのご提案

まずは、厳しいご指摘から。

- ・時間は守ってほしい。（筆者注：終了時刻が30分延びたことに対して）
- ・ポスターに終了時刻・語り手の名前を載せるべき
- ・ゲストの選び方を考えて

素直に聞くべきは聞き、次回に生かしたい。これら以外は、非常に好意的な筆致にあふれたものばかりで、その中から、前向きなご提案を記録しておきたい。

- ・来られなかった方のために、HPで音声も聞けるようにしてほしい
- ・童謡や唱歌を学生さんと一緒に口ずさんでみたい

- ・定期的に開催してほしい

今年度の大会の、これまでとの大きなちがいは、学生参加型の企画にした点である。これについては、一般来場へのアピール力は、上記のアンケート結果からも十分にあったと言える。また、聞き手となる本学学生も、終了後に提出された「聞き取りシート」を見る限り、身近な話題であり、クラスメイトがステージに立つということから、受け身にならずに聞けたようである。

今後は、学生の主体的参加と身近なテーマを軸に企画を練りたい。

## 2. 方言調査の報告——事前アンケートの分析

大会に先立ち、学生の参加意識を盛り上げるため、「信州弁サミットに向けてのアンケート」を行なった。アンケートの概要は、以下のとおり。

■年月日：2012年6月19日

■対象：本学総合文化化学科学生1・2年生94名（当該授業出席者のみ）

■学生の出身地域：長野県内75 {北信30・東信37・中南信8}

長野県外18

NA 1

質問（3問）とその結果を次に示す。

①あなたの好きな信州方言は？ {単語・意味・理由}

出身地 [北 信]	[東 信]	[中・南信]	[県 外]
～しない?… 5	ずく… 6	ずくなし… 1	～しない… 5
ずく… 4	(りんごが) ぼける… 3	NA… 2	NA… 7
べちやる… 2	いただきました… 2		
へら… 2	ずくがない… 2		
～かや… 2	ずくなし… 2		
NA… 4	こわい… 2		
	NA… 5	(1名のみ)	指摘は原則として省略)

一般来場者（年代は30代～80代）とも共通で、「ずく」「ずくなし」が支持されている。須坂を発祥とする「新方言」の「～しない」が県外勢に受けている。初めて聞い

て、一瞬戸惑った経験がきっかけになるようである。「気がつきにくい方言」である「(りんごが) ほける」「いただきました」を挙げているのは、授業で学んだ成果か。

なお、回答なし (NA) の数が気になるところで、方言に関心がないのか、アンケートに対して気乗りがしていないのか不明である (以下の②・③も同様)。

②短大での生活で、友人が使っていて意味がよくわからなかった信州方言はありますか

出身地 [北 信]	[東 信]	[中・南信]	[県 外]
もうらしい… 2	～するしない?… 5	～しない?… 3	ずく… 3
ぶちやる… 2	べちやる… 2	NA… 4	(りんごが)
ナシ… 5	ぶちやる… 2		ほける… 3
NA… 11	ナシ… 6		へら… 2
	NA… 11		NA… 3

県外出身学生に受けの良かった「～しない?」は、実は、県内の北信地域以外出身の学生には、あまり評判がよくない (『長野県方言辞典』信濃毎日新聞社2010.3p.734-735参照)。

「ナシ」の回答数をみると、方言体験が少ないことも考えられる。

③友人に向けての会話で、あなたが使って相手に通じなかった方言はありますか

出身地 [北 信]	[東 信]	[中・南信]	[新 潟]
～しない?… 8	おやげねえ… 3	もうらしい… 2	そろっと… 6
べちやる… 2	こわい… 2	NA… 2	おもしろい… 3
まえで… 2	ぶちやる… 2		こちょばしい… 3
ナシ… 4	ほとぼす… 2		そーいが… 2
NA… 6	ナシ… 5		
	NA… 8		

「～しない?」「おやげねえ」など、地域特有の語が上位に来ている。

新潟出身の学生に「ずく」の意味を聞かれて、うまく説明できなかったとの添え書きがあった。上越地域でも、一部使われているが、中越・下越も含めると、新潟弁でほぼ同意になる「のめしこき」に当たると説明すると理解が早い。